

15. ごみのない循環のまち

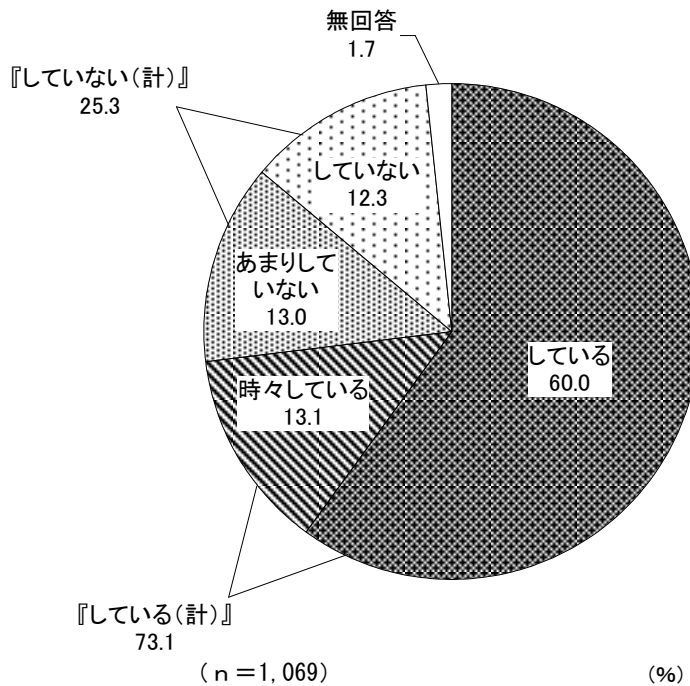
(1) 紙ごみの分別状況

◇「している」と「時々している」を合わせた『している(計)』は7割を超える

問 28 あなたの家庭では、資源化できる紙ごみの分別はしていますか。(○は1つだけ)

※区が収集した可燃ごみの中には、資源化できるトイレトーパーやラップの芯・包装紙・封筒・菓子箱・ティッシュの箱・紙袋などの紙ごみ(雑がみ)が17%入っています。雑がみは、紙袋に入れてしばって「資源」の日に出していただくとごみの減量と資源化を進めることができます。

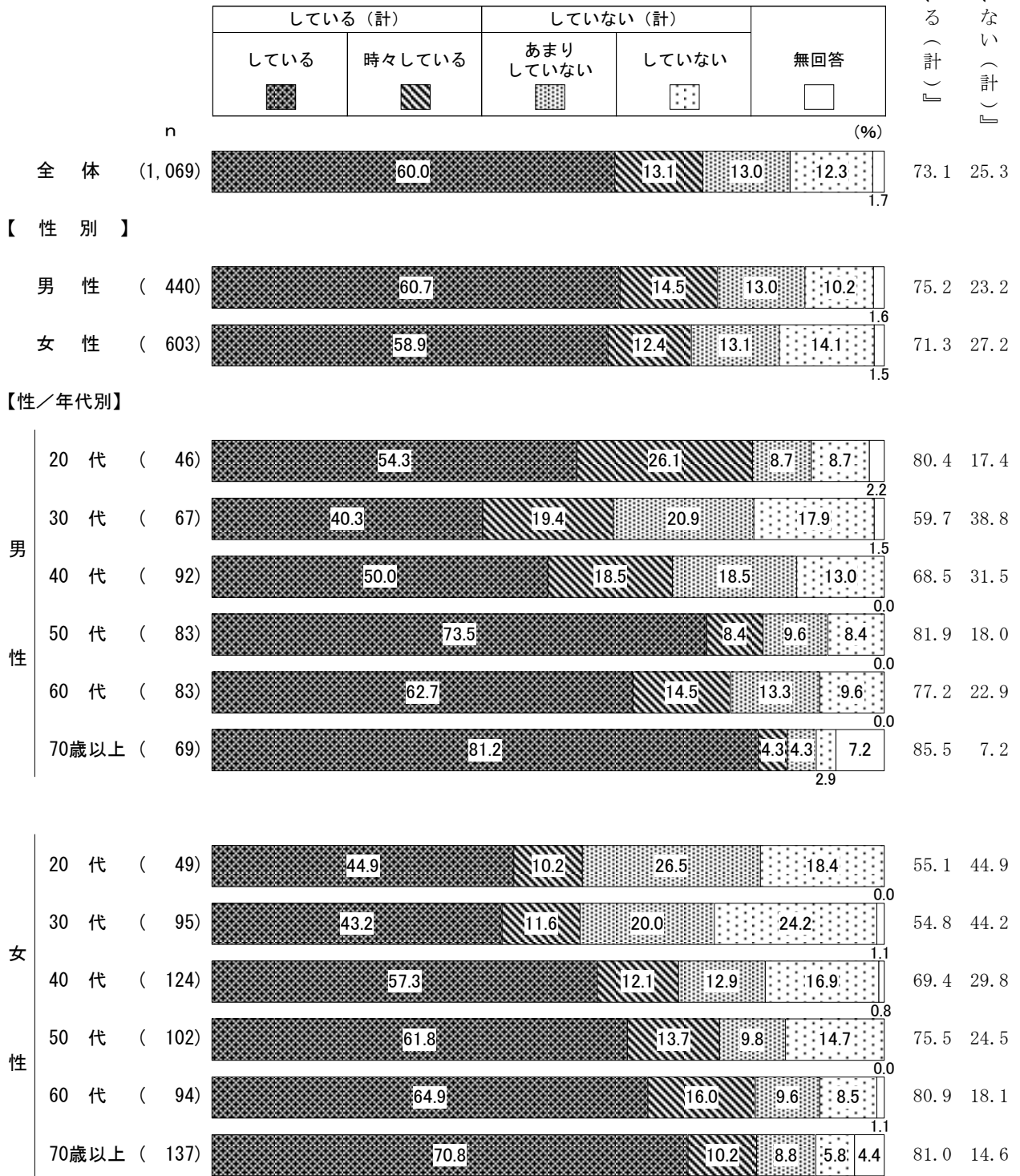
図 15-1-1



家庭で資源化できる紙ごみの分別をしているか聞いたところ、「している」(60.0%)が6割で最も高く、これに「時々している」(13.1%)を合わせた『している(計)』(73.1%)は7割を超えている。一方、「あまりしていない」(13.0%)と「していない」(12.3%)を合わせた『していない(計)』(25.3%)は2割半ばとなっている。(図 15-1-1)

図 15-1-2 紙ごみの分別状況－性／年代別

『している（計）』
『していない（計）』

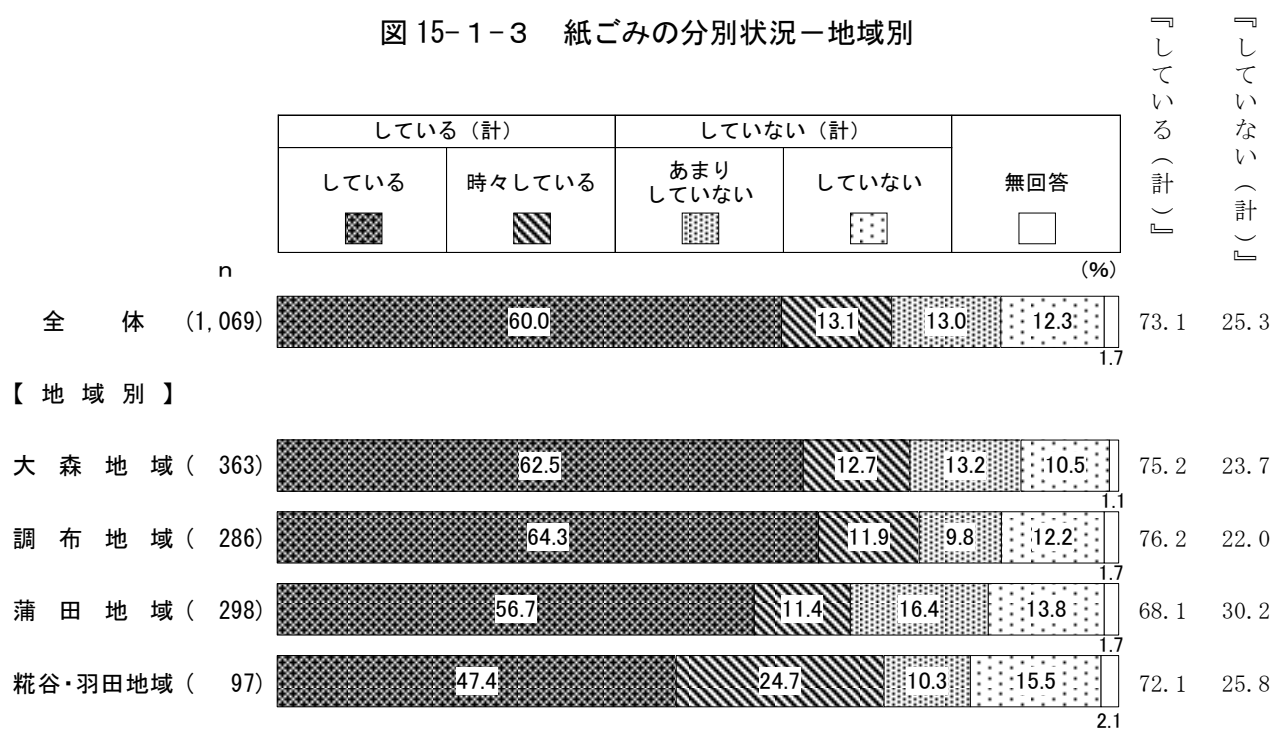


性別で見ると、『していない（計）』は女性（27.2%）が男性（23.2%）より4.0ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『している（計）』は男性70歳以上（85.5%）で8割半ばと高くなっている。一方、『していない（計）』は女性の20代（44.9%）と30代（44.2%）で4割半ばとなっている。

（図15-1-2）

図 15-1-3 紙ごみの分別状況—地域別



地域別でみると、『している (計)』は調布地域 (76.2%) と大森地域 (75.2%) で7割半ばと高くなっている。一方、『していない (計)』は蒲田地域 (30.2%) で3割となっている。

(図15-1-3)